

災害に備え決意新たに

つがる市消防団出初め式



雪の中、士気高らかに分列行進する消防団員ら



訓示を述べる箱田団長



観閲者である福島市長による服装点検

つがる市の火災発生件数

年	建物	林野	車両	その他	計
H20	16	9	2	32	59
H21	13	3	2	35	53
H22	14	1	2	15	32
H23	11	1	1	17	30
H24	11	7	1	13	32



感謝状を受け取る
前稲垣地区団長の横山勇一さん



優良団員表彰を受ける稲垣地区消防団

新春の恒例行事である「つがる市消防団出初め式」が1月6日、57分団約1000人、消防車両57台が参加して松の館駐車場で開催され、火災のない安心・安全のまちづくりを決意を新たにしました。

出初め式では、各地区の消防団員が、観閲者の福島市長から服装の点検を受け、市役所前の市道を力強く分列行進して士気を高めました。

その後、松の館で式典が行われ、福島市長が「消防人としての高い誇りと職務の重要性を認識し、あらゆる災害に即応できるような心身を鍛え、市民の信頼と期待に応えてほしい」と式辞。続いて箱田鐵雄団長が「崇高な消防精神のもと地域住民から信頼される消防団として任務に一層精進してほしい」と訓示を述べました。

また、30年以上の永きにわたり消防団活動に貢献して勇退した団員に感謝状が、昨年8月に行われた青森県消防操法大会に出場した稲垣地区消防団員11人に優良団員表彰状がそれぞれ手渡され、万歳三唱で出初め式を祝いました。

今年も交通安全を誓おう

つがる市で交通死亡事故ゼロ1年を初めて達成

市では、平成24年12月18日、交通死亡事故ゼロ1年を初めて達成し、翌19日、県庁で知事表彰を受けました。また、平成24年度の1年間を通して交通死亡事故ゼロを達成。これは、つがる警察署管内で統計を開始した昭和41年以降、初めての記録となります。

つがる地区交通安全協会（桜庭修会長）は、今年も新たな気持ちで交通安全活動に取り組み、交通事故による死者ゼロを目指して1月5日、三新田神社で「平成25年交通安全祈願祭」を行いました。

祈願祭には交通安全母の会や関係者ら約30人が出席。祝詞奏上の後、桜庭会長、福島市長、相馬完つがる警察署長らが玉串をささげ、交通安全を祈願しました。

最後に桜庭会長が「今年も交通死亡事故のない1年を目指し、新たな気持ちで運動を展開していきますましよう」と呼び掛け、相馬署長は「記録達成は交通安全各団体のボランティア活動のたまもの。これからも連携を図りながら事故のない市を目指し、継続していきたい」と話していました。



交通安全に対する啓発を図ったつがる警察署での餅つき会（12月20日）



チラシを配って安全運転を呼び掛ける向陽小学校の児童ら（12月20日）



三新田神社で交通安全を祈願する桜庭会長ら



年頭のあいさつを述べる福島市長



希望に満ちた新年を祝う出席者

輝かしい新春を祝う

平成25年新年祝賀会

平成25年新年を迎え、「つがる市新年祝賀会」が1月4日、市民ら約200人が出席して松の館で開催されました。

福島市長は年頭のあいさつで「農産物のブランド化について消費者への浸透を図るため更なる事業を推進するとともに、地産地消の拠点施設である『農産物直売所』が今年7月にオープンするほか、『集出荷水溫貯蔵施設』の建設を進め、基幹産業の活性化に努めます。市民の皆様が安心と希望が持てるまちづくりに全力を挙げて取り組みます」と述べました。

また、祝賀会には多くの来賓も出席し、祝辞の後、宮本純一商工会長の発声で乾杯を行い、出席者は新年のあいさつを交わしていました。

